

# 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における

## 2020 Japan Men's Softball League Tournament

### 大会開催マニュアル Ver.2.1

#### 【コロナ禍特例】

令和2年9月18日

公益財団法人日本ソフトボール協会

男子リーグ事務局

#### 1 はじめに

2019年12月に新型コロナウイルス感染症の感染者が発生して以来感染者の移動による影響から瞬く間に全世界への感染者拡大と発展した。その結果、世界保健機関（WHO）のテドロス事務局長は2020年3月11日、世界で感染が広がる新型コロナウイルスについて「パンデミック（世界的な大流行）とみなせる」と表明した。また、日本でも新型コロナウイルス感染症の感染拡大は広がり4月7日、政府により7都府県に緊急事態宣言の発出がされ、続いて4月16日には政府より緊急事態宣言が全国47都道府県に拡大する決定がされ緊急事態宣言の期間を5月31日までと決めた。その後全国的な感染拡大防止対策（外出自粛や休業要請、不要不急の外出自粛、国民一人一人の手洗い・うがい・アルコール消毒・咳エチケット等の徹底により感染者数の減少傾向がみられた中5月25日にすべての都道府県に対する緊急事態宣言が解除された。ただし、政府および専門家による新型コロナウイルスの威力について今後も予断を許さず第2波、第3波が予測されているため気を緩めず感染予防に努め、感染しない、させないための「新しい生活様式」は発出された。

そして、5月4日開催の専門家会議の提言を参考に事業者及び関係団体は、今後の持続的な対策を見据え、業種や施設の種別ごとにガイドラインを作成するなど、自主的な感染防止のための取組を進めることが求められています。

なお、本マニュアルは、必ずしも十分な科学的な知見が集積されている訳ではありません。今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得ることにご留意をお願い致しますとともに、各種イベントの再開を検討される当該自治体の定めるガイドラインなどを十分考慮していただけますようお願いいたします。

- 2 ソフトボール競技会・各種イベントなどの再開に当たっての基本的考え方について  
公益財団法人日本スポーツ協会および公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の定める「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を参照。

ソフトボール競技会・各種イベントの再開に当たっては、以下のとおり対応すること。

なお、当該ソフトボール競技会・各種イベントが開催される都道府県（自治体）の方針に従うことが大前提であり、開催や実施の判断に迷われた際は、開催地や施設が所在する都道府県のスポーツ主管課や衛生部局等への御相談をお願いします。

- (1) 特定警戒都道府県に指定される都道府県
  - (2) 特定警戒都道府県以外の特定都道府県に指定される都道府県
  - (3) 緊急事態措置の対象とならない都道府県
- 3 ソフトボール競技会・各種イベントなど開催・実施時の感染防止策について  
公益財団法人日本スポーツ協会および公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の定める「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を参照。
    - (1) スポーツイベントの参加募集時の対応
    - (2) 当日の参加受付時の留意事項
    - (3) スポーツイベント参加者への対応
    - (4) スポーツイベントの主催者が準備等すべき事項
    - (5) 参加者が運動・スポーツを行う際の留意点
    - (6) その他の留意事項
  - 4 ソフトボール活動の再開に向けた感染拡大予防について  
公益財団法人日本ソフトボール協会の定める「ソフトボール活動の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を参照。

- 5 2020 Japan Men's Softball League Tournament 開催における留意事項

この開催マニュアルは、公益財団法人日本ソフトボール協会が実施する日本男子リーグで想定される事項について定め、公正かつ安全に 2020 Japan Men's Softball League Tournament を開催することを目的とする。

## 【原則】

- (1) 三つの密（密閉、密集、密接）（※）の発生が原則想定されないこと  
（人と人との間隔はできるだけ2 mを目安に）
- (2) 大声での発声、歌唱や声援、又は近接した距離での会話等が原則想定されないこと
- (3) その他、必要に応じて、適切な感染防止対策（入場者の制限や誘導、手指の消毒設備の設置、マスクの着用、室内の換気等）が講じられること

（※） これまで集団感染が確認された場に共通する「①換気の悪い密閉空間、②人が密集している、③近距離での会話や発声が行われる」という3つの条件。また、これ以外の場合であっても、人混みや近距離での会話、特に大きな声を出すことや歌うことにはリスクが存在すると考えられる。激しい呼気や大きな声を伴う運動についても感染リスクがある可能性が指摘されている。

## 6 開催地への移動

- (1) チームの移動は、原則バス・自家用車移動とし車内の換気を徹底すること
- (2) 極力、公共交通機関を利用しないよう努めること

## 7 食事について

- (1) 原則テイクアウトとし、店内での食事を控えること
- (2) 食事会等、大小限らず人が密集するイベントは実施しないこと
- (3) バイキング等の食事形式に注意すること

## 8 会場について

- (1) トイレ
    - ① 観客、選手、運営スタッフのトイレは、出来る限り分ける
    - ② トイレには、石鹸（ポンプ型が望ましい）を常設する
    - ③ ロールタオル、ハンドドライヤーは使用禁止
    - ④ 不特定多数が触るドアノブ等は、小まめに消毒を行う
  - (2) 喫煙所
    - ① 十分な対人間隔が確保できる屋外スペースで、利用人数を制限した運用を行う
    - ② 屋内の喫煙所は使用禁止とする
  - (3) ベンチ
    - ① 野球場のダグアウトもベンチとして併用し、社会的距離（最低1メートル）を確保できるよう椅子を配置する。
- ※ソフトボール専用球場使用の場合は、別途協議

- ② ベンチ内に消毒液を常設し、小まめに手指消毒を行う
- ③ チーム入替時のベンチ内の消毒は、後から入るチームが行う  
※噴霧器（スプレーでも可）で消毒液を散布して、雑巾で拭き上げる
- (4) 更衣室
  - ① 室内の十分な換気を行う  
※必要に応じて扇風機・サーキュレーターを使用
  - ② 室内が密とならないよう、使用者またはチームへ伝える
  - ③ チームミーティングは更衣室内で行わない
- (5) 選手動線
  - ① 選手の会場入りに際しては、一般観客と交わらない動線を確保する
  - ② 選手エリア（選手通用口、ベンチ、ダグアウト、更衣室、外野練習場など）には、チーム関係者以外はむやみに立ち入らない
- (6) 物販・飲食関係
  - ① 出店業者には、各業界のガイドラインに沿った形での運用を依頼する
- (7) チーム応援者受付
  - ① チーム受付担当者には、以下のことを実施して頂く
    - ・対応スタッフは、マスク・手袋を着用する  
※対応する場合は、遮蔽版やフェイスシールドを使用する  
※手袋を着用しない場合は、手指消毒を小まめに行う
    - ・消毒液を設置し、小まめな手指消毒を促す（消毒液はチームで手配）
    - ・受付終了後、借用した備品等の消毒を行う（毎日）

## 9 イベント管理について

- (1) ファンサービス
  - ① 選手とファンが直接触れ合うイベントや密を発生させる恐れのあるイベントについては中止とする
  - ② 実施不可のファンサービス：サインボール投げ入れ、エスコートキッズ、選手とのふれあい会、サイン会、写真撮影会、握手会
  - ③ 実施可能なファンサービス：各種抽選会
  - ④ 選手のチームバスへの移動時のファン対応は、チームが責任を持って移動を行い、選手とファンが直接触れ合う事がないようにする
- (2) 始球式《ソーシャルディスタンス版》
  - ① 社会的距離（最低1メートル）を意識したものであれば実施可  
※記念写真は不可
  - ② イベント前後の手指消毒を確実にを行う
  - ③ 実施タイミングは、原則、選手との接触を避けるためグラウンド整備の直後とする

- ④ 始球式については、基本的にチーム（選手）対応不要とするが、主催者より要望のある場合は別途協議する
- (3) 監督・選手インタビュー
  - ① 試合後にヒーローインタビューを行う場合は、話し手・受け手とも専用マイクを準備する
    - ※試合後のみの対応とする
- (4) メディア対応
  - ① メディアに対しては、報道受付にて取材マニュアルを配布し遵守させる（取材パスの発行、取材者名の記録、健康状態の申告、エリア制限など）
  - ② 原則、オンライン取材とする
  - ③ 主催者側より要望のある場合は、テレビ局1社に限り対面取材を行う可能性あり
    - ※社会的距離の確保（最低2メートル以上）、遮蔽版の使用等、選手の安全を最優先して行う
  - ④ 原則、男子リーグ事務局側でコントロールするが、チームにも協力を頂く場合もある
    - ※メディア対応者を現地派遣

## 10 競技上（練習、観戦含む）の留意点

- (1) 大会関係者、体調管理、感染予防、メディア取材対応について
  - ① 公益財団法人日本ソフトボール協会の定める「ソフトボール活動の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」内、(5-1項)「大会関係者への対応」を遵守すること
- (2) 観戦について
  - ① チーム選手、スタッフの試合観戦時は、公益財団法人日本ソフトボール協会の定める「ソフトボール活動の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」内、(5-2項)「観戦者への対応」を遵守すること
  - ② 観客席に観客を入れて開催する場合は、上記(1)~(2)に示す内容に加え、以下3点について対応する
    - I 入場前に関係者全員（メディアを含む）の検温を実施し、37.5度以上の者は入場を禁止する
    - II サーモメーター等を利用した来場者への検温を実施し、37.5度以上の方は入場を遠慮してもらう
    - III 観客の属性を把握するため、観客席のエリア分け（一般観戦者、チーム応援団、大会関係者、報道関係者等）を行う
  - ③ 無観客の制限において、一般観戦者、チーム応援団、大会関係者、報道関係者が上記①~②を遵守し、観戦できるものとする
    - ※上記9「イベント管理について」を遵守すること

(3) 練習、試合について

- ①公益財団法人日本ソフトボール協会の定める「ソフトボール活動の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」内、(5-3項)「競技上(練習含む)の留意点」を遵守すること
- ②試合中、出場選手以外は必ずマスクを着用すること

11 選手およびチーム関係者に疑い例が出た場合の対応

- (1) 大会期間中、検温で 37.5 度以上の発熱があった場合は、必ず大会事務局に報告する
- (2) 発熱 37.5 度以上が 2 日間以上持続した場合は、対象者をチームから隔離
  - ① 所属先および医療機関への連絡
  - ② 濃厚接触者の抽出
  - ③ PCR 検査および医療機関受診対象者の確認
- (3) 陽性反応が出た場合の対応
  - ① 感染者本人は入院もしくは自宅療養(医療機関の指示に従う)
  - ② 濃厚接触者も自宅待機(医療機関の指示に従う)
  - ③ 事業終了後、二週間以内に関係者より感染者が出た場合は、速やかに関係機関に報告する
  - ④ 以降の大会開催方法について即刻、協議を行う

12 順位決定・成績取り扱い方法

- (1) 当大会参加が不可能になったチームを除き大会を開催し、当大会順位を決定する
- (2) 当大会への参加可否問わず、2020 年度の総合選手権出場権獲得枠を 2021 年度にスライドする
- (3) 大会途中で参加が不可能となったチームの未実施試合を没収試合とする

13 大会開催・中止条件

- (1) 大会の開催条件は、参加チーム数の 10 チーム以上となった場合
- (2) 大会の中止条件は、参加チーム数の 10 チーム未満となった場合

14 大会参加が不可能となったチームへのペナルティー

- (1) 大会参加が不可能となったチームへのペナルティーは、原則なしとする
  - ※但し、(公財)日本ソフトボール協会へ理由書を提出すること
  - ※部長またはチーム代表者により提出すること

15 大会参加費

(1) 100,000 円

16 健康観察記録表の記入・提出

- (1) 協会関係者・チームスタッフ・選手へは以下の感染予防対策を事前に周知し、健康観察記録表（下記参照）の記入提出等、予防対策の徹底に努める  
また大会開催期間はガイドライン・マニュアルを遵守する
- (2) 大会に参加する場合は、開催 14 日前からの健康観察記録表の記入・提出を義務付ける

[対象者]

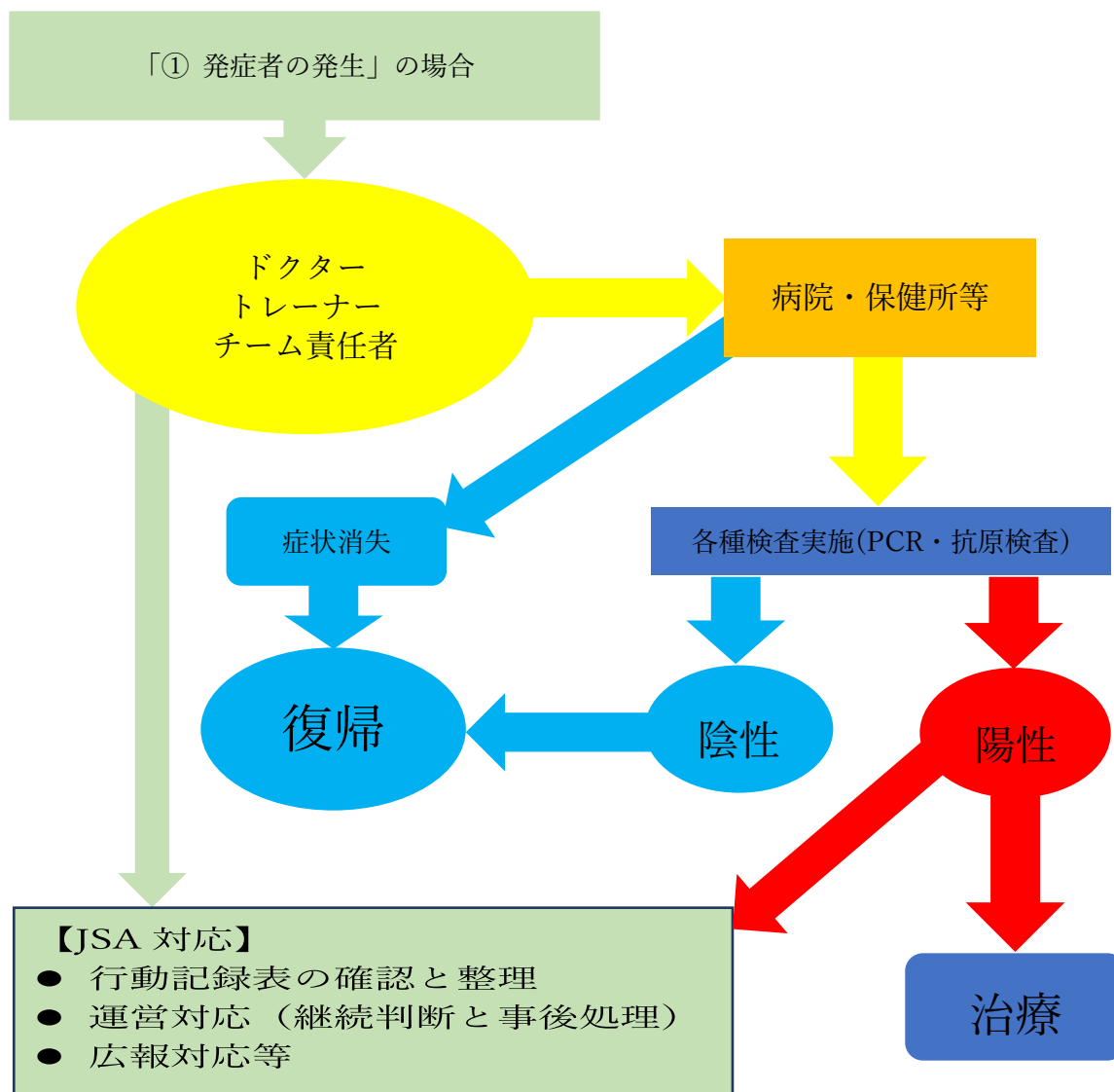
- ・監督、コーチ
- ・トレーナー、マネージャー、スコアラー
- ・サポートスタッフ（打撃投手、サポートコーチ、その他）
- ・ドクター
- ・参加選手全員

※急遽参加が決まったスタッフ及び選手については、決定日からの記入

- (3) 大会参加対象者全員の記入完了後、健康観察記録表を（公財）日本ソフトボール協会男子リーグ事務局に、健康観察記録表提出確認書に記入押印の上提出をする
- (4) 提出期限は大会終了前までとする

健康観察記録表（第 節用）																	
■氏名												■所属先名		■年齢		■歳	
■役職		<input type="checkbox"/> 選手 <input type="checkbox"/> 監督・コーチ <input type="checkbox"/> トレーナー <input type="checkbox"/> ドクター <input type="checkbox"/> スコアラー <input type="checkbox"/> その他スタッフ（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）															
		※□を塗りつぶす(例) □-■															
																	
検温日	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	検温日	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	
検温時間	:	:	:	:	:	:	:	:	検温時間	:	:	:	:	:	:	:	
倦怠感	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	倦怠感	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
咽頭痛	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	咽頭痛	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
鼻水	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	鼻水	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
咳	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	咳	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
呼吸困難	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	呼吸困難	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
味覚異常	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	味覚異常	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
嗅覚異常	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	嗅覚異常	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
その他の症状	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	その他の症状	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
外部集会等の参加	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	外部集会等の参加	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
同居人の症状	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	同居人の症状	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
特記事項								特記事項									

## 17 連絡系統



- ◆ 大会参加チームへの本マニュアルの周知徹底を図ること
  - ◆ 大会参加チームは、感染予防の徹底を図ること
  - ◆ 特に感染者を出した際の競技団体への責務の重大性を考えチーム関係者、当該役員・スタッフ一同で感染拡大予防の遵守徹底
  - ◆ 大会会場への関係者の移動については、極力、公共交通機関を利用しないこと
  - ◆ 監督会議および開会式、閉会式、懇親会等、人が密集するイベントは実施しない
- (※) 事務連絡などがある場合には、事前に参加チーム連絡責任者にメール等で周知する

(以上)



令和2年8月2日	作成
令和2年8月30日	更新
令和2年9月8日	更新
令和2年9月18日	更新